

プログラム再開に関する新型コロナウイルス感染予防対策 ボウリングプログラム

本ガイドラインは、特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・三重が示す「感染拡大予防に関するスポーツプログラム再開に関するガイドライン」に基づき、ボウリングプログラムを再開するに当たり、新型コロナウイルス感染症の予防対策について、留意点など基本的な方針を示します。

1. ボウリングプログラムの再開について

プログラムの会場となるボウリング場が、公益社団法人 日本ボウリング場協会が示す「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき、適切な予防対策がなされていることをボウリング場に確認し、SON 三重のガイドラインに従い、再開に向けて SP 委員長に提案を行う。

2. ボウリングプログラムの参加について

過去 14 日以内に以下の事項に該当する場合は、参加ができないものとする。

- ・体調の不良（発熱、咳、咽頭痛などの症状、嗅覚、味覚の異常がある場合）。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

3. 当日の参加受付について

- ① 受付時に手指のアルコール消毒の実施。
- ② マスクの着用を行う。
- ③ 検温の実施。37.5℃以上の方の参加は認めない。（出席簿に検温記録を記載する。）

4. プログラム中の対応について

- ① アスリートは、プログラム中（運動時）はマスクを外してもよい。アスリート以外は、プログラム中もマスクの着用を求める。
- ② 長時間の密接かつ対面しての指導は行わない。
- ③ 三密を避けるため、1レーン当たりのレーン人数を2名以下とする。
- ④ ボール拭きタオルは各自準備し、ボウリング場備え付けのタオルは置かない。
- ⑤ 握手やハンドタッチ、ハイタッチなど、密接となる行為は行わない。
- ⑥ プログラム（ボウリング）中に大きな声で会話、応援などをしないこと。
- ⑦ 熱中症対策のため、水分補給について留意する。
- ⑧ ファミリーは後方フロアの所定の席で観戦をお願いします。
- ⑨ その他、感染防止のために当会および会場センターが決めたその他の措置の遵守、および指示に従って下さい。